



①3,700棟以上が浸水した福岡県久留米市 ②③10日朝、緊急安全確保(警戒レベル5)が発令された福岡県朝倉市高木地区 ④佐賀市内の備蓄倉庫から物資を搬出するCivic Forceスタッフ ⑤人手不足で未だ手付かずの地域も

2023年7月大雨被災地支援

福岡と佐賀の被災地で物資配布

2023年7月10日、福岡県や大分県など九州北部で大雨の特別警報が発表され、各地で土砂崩れや浸水の被害が発生しました。「数十年に一度の大雨」となった地域もあり、その後、北陸や東北などでも断水や浸水の被害が相次ぎました。

Civic Force佐賀事務所では10日、各地の自治体やパートナー団体とやりとりしながら被害に関する情報収集を開始しました。参画する空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”の先遣隊も同日朝、拠点の広島県から福岡県久留米市に向けて出発。連携して病院や避難所のニーズを確認するとともに、各地へ必要な物資を届ける活動を続けています。

今号のニュースレターでは、7月の大雨被害および5月に石川県で発生した奥能登地震の支援活動についてご報告します。また、Amazonとの物資輸送訓練の様子もお伝えします。

**ご寄付
受付中!**



指定寄付口座「令和5年大雨被災地支援」を開設しました。銀行のほか、クレジットカードやふるさと納税でのご寄付も受け付けています。



■三井住友銀行 青山支店 普通 7027390

■ゆうちょ銀行 00140-6-361805

(通信欄に「令和5年大雨」と明記ください)

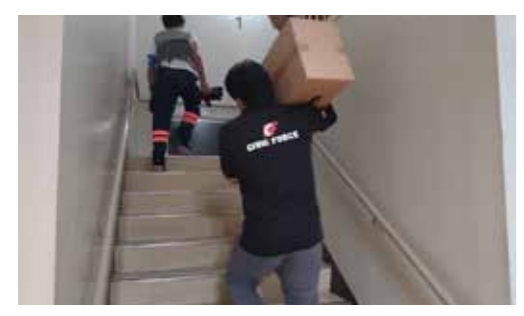
口座名義は上記いずれも
公益社団法人Civic Force シャ) シビックフォース

※指定寄付のうち、15%を上限に運営費として活用し、残り金額はすべて事業費にあてさせていただきます。

福岡・久留米

FUKUOKA

佐賀の備蓄倉庫から病院へ



病院へ届けた非常用トイレや給水袋、台車、折りたたみコンテナ

簡易トイレや給水袋、台車をお届け

7月10日、降り続く大雨のため、福岡県久留米市内の病院で浸水被害が発生。1階の病棟は床上数十センチまで浸かり、入院患者約50人が2階に避難しました。

Civic Forceが参画する空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”の先遣隊は、同日から久留米市内で調査を開始。病院の担当者から「断水の影響でトイレが使えなくなった。備蓄していた非常用トイレも残りわずか」と聞き、Civic Forceは10日、佐賀市内の倉庫に備蓄していた簡易ポータブルトイレ5機と使い捨てトイレセット4,000回分を届けました。

12日と13日には、給水バッグ250枚とトイレセット4,000回分を追加支援したほか、病院内に届いた支援物資を整理・運搬するための台車と折りたたみコンテナを届けました。病院スタッフの方は「初日から支援に来ていただいたおかげで、少しずつ片付けや復旧が進んでいます」とホッとした表情を見せてくれました。

片付けにブルーシート

久留米市では家屋3,700棟が浸水の被害を受け、12日から災害ボランティアセンターが立ち上がりました。13日、久留米市社会福祉協議会からの要請を受け、家屋の復旧や清掃に必要な軍手やスリッパ、ブルーシート、暗い床下を確認する懐中電灯などを届けました。また、お風呂が使えなくなった被災者のために浴場を開放している施設で使うシャンプー・リンスもお渡ししました。



家屋の清掃時に使う軍手やブルーシート

佐賀・唐津

SAGA

社会福祉協議会に電動運搬車を貸与

土砂崩れなどの大きな被害が出た佐賀県唐津市や佐賀市でも、14日からボランティアの活動が始まりました。Civic Forceは、連携する災害ボランティアセンターと佐賀災害支援プラットフォーム(SPF)の拠点へ、電動運搬車や高圧洗浄機、ポータブル電源、送風機、タンク、テントを貸与したほか、飲み物などの物資を届けました。



タンクやテントなどの運搬を手伝ってくれた地域の小中学生



山間部の倒れた木々や濡れた畳などの運搬に活用されている電動運搬車



上/唐津市災害ボランティアセンター
下/ポータブル電源は屋外の事務作業に活用



土砂崩れが起きた唐津市の山間部

石川・珠洲

ISHIKAWA

生活再建を支える「NPOパートナー協働事業」開始



2023年5月5日午後2時42分頃、石川県能登地方で震度6強を観測する地震がありました。その後も度重なる余震や雨が続き、1,400棟以上の住宅被害が確認されています。

Civic Forceが参画する空飛ぶ捜索医療団“ARROWS”は、発災翌日から特に被害の大きかった石川県最北端の珠洲市で緊急支援活動を開始。避難所の設営・整備や物資配布、在宅避難者への見守り支援などを行いました。高齢者のお宅をまわった際には、車中泊をしている人や健康に不安を感じている人もいて、医師や看護師などの医療者が適宜相談に応じました。

保健医療福祉調整本部となった珠洲市健康増進センターの所長は「困っていた時に来てくれて助かった。おかげでなんとか住民の力になれる」と話してくれました。

復旧から復興へ

足湯や修復相談会で地域を元気に



NPOパートナー協働事業

高齢化率が50%を超える珠州市。被災した多くの高齢世帯が複雑な被災者支援制度を使いこなせず、再建の選択肢を知らないまま早期に諦めてしまう方もいます。

Civic Forceは、被災者の生活再建を支えるため、7月から被災地NGO協働センターと連携して「NPOパートナー協働事業」を開始。住まい修復相談会や勉強会、足湯やお茶会を開催し、地域の居場所づくりなどを支援します。



平時から出動体制を整えいち早く被災地へ



地震が引き起こす液状化現象



体育館の避難所に簡易の個室を整備



建物の修復再建に向けた個別訪問



ご支援のお礼とご報告

奥能登地震について、5月から7月末までに合計8,093,215円(手数料・運営費含む)のご支援をいただきました。Civic Forceへの直接寄付のほか、JFRカード株式会社様のご協力で大丸松坂屋カードのポイント募金とクラウドファンディング型募金を通じたご寄付も頂戴しました。ご支援は、ARROWS緊急支援チームの派遣やNPOパートナー協働事業などに活用させていただいております。皆様のあたたかいご支援に感謝申し上げます。

迅速かつ効率的に支援を届けるための 物資保管施設「Disaster Relief Hub」



被災者約1,000人が3日間使える量を想定し約50種15,000点を保管

ネット通販を手がけるAmazonが、5月23日、兵庫県尼崎市の尼崎フルフルメントセンターに災害支援物資の保管拠点「Disaster Relief Hub」を開設しました。

Civic ForceはAmazonのパートナーとして、災害支援の経験を生かして、保管物資の選定をサポートしました。災害時にはこれらの物資を活用し、支援活動を行う予定です。

力を合わせて しっかり機能させたい

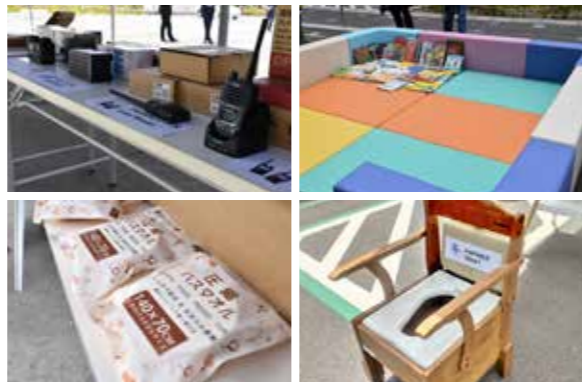
各地で災害が増える中、被災者の生活向上に役立つ重要な拠点。災害支援のプロであるNPOの皆さんと力を合わせ、災害時にしっかり機能させたい

—— アマゾンジャパン 原祐介 統括本部長

過去の支援経験を踏まえて 物資を選定

被災地にいかに早く的確な物資を届けるか、これまでも協議を重ねてきたが、今日はその第一歩となる日。アイテム選びでは、過去の経験を踏まえ女性や子どもが必要なものも揃えた

—— Civic Force プログラムコーディネーター 後藤 忍



メディア発表会で公表されたアイテム。被災者の睡眠を助けるエアマットや毛布、食器などのほか、プレイルームセットなども保管



ノウハウを有する 皆さんの存在が心強い

自治体は地域の人々の安全を守る役割を担うが、準備できる物資には限りがある。災害支援のノウハウを有する皆さんに尽力いただき、素晴らしい物資が用意され心強い

—— 尼崎市 松本真市長

兵庫から佐賀へ 物資輸送訓練を初開催


Disaster Relief Hubの正式な活動の開始に向けて、6月25日、Civic ForceはAmazonと共同で、災害支援物資の輸送訓練を実施しました。

訓練では佐賀市内で大雨による河川の氾濫や床下浸水が起き、避難所を開設した想定。尼崎のDisaster Relief Hubから寝具や衛生用品など約760点を選んで佐賀女子短期大学内の備蓄倉庫に届けました。



渋滞で1時間の遅れ。「想定外を想定内にするのが訓練の目的」と話す Civic Force代表理事の根木佳織


Civic Forceが企業と輸送訓練を実施するのは初めての試みです。物資の発注から避難所への輸送に関するシミュレーションを行うことで災害時における課題の把握を行うとともに、AmazonとNPOの連携体制の確認を行い、災害時に迅速で効率的な運用を目指す目的で実施しました。



8/31まで 7月大雨 無料配送キャンペーン

Civic Forceは、企業のモノやサービスと社会課題の解決に尽力する支援団体をつなぐデジタルプラットフォーム「Good Links」を運営しています。

2023年7月の大雨で被害を受けた地域（災害救助法適用市町村）へ、Good Linksの「物資・サービス一覧」に掲載中の物資を無料配送します。期間は2023年8月31日まで。

詳しくはこちら 

お問い合わせ gl@civic-force.org



2022年新潟豪雨

昨年8月、記録的な大雨で土石流などの被害を受けた新潟県村上市。Civic Forceは、断水が続く地域に給水袋や電動運搬車を届けたほか、昨年11月から今年2月まで、村上市でNPOパートナー協働事業を実施し、被災の影響を受ける親子の相談受付やメンタルケアを行いました。NPOパートナーのお二人からメッセージが届きました。

NIIGATA



ニーズに合った支援をタイムリーに実施できた。

産後ケアや託児サービス、イベントや講座を通じて、子育て中の親を孤立させない環境づくりを目指して活動しています。発災後、被災した親子などを対象に交流イベントや個別相談を実施しました。豪雨災害直後の片付けや泥だし作業は本当に大変ですが、個別相談は復旧作業後に多く寄せられ、時間が経った後にこそ浮上する心の問題や経済不安の課題も垣間見えました。電話で話を聞くだけでなく、生活の補助など福祉的な支援も行いましたが、Civic Forceとの協働事業はニーズに合致したタイミングで実施できたと思います。



NPO法人村上ohanaネット
理事長
渡辺 ひろみさん

インタビュー記事は
こちら



復興には時間がかかる。 孤軍奮闘せず周囲とつながりながら。

村上市が被災したとき、全国各地からたくさんの支援が届きましたが、東北や九州の被災地から「長丁場になるから走りすぎな」というアドバイスがありました。発災直後は目の前の状況を打開しようと必死ですが、災害の影響は短期的な復旧作業だけでなく、後々まで大きく響きます。孤軍奮闘するのではなく、地域内外の多様な人・団体と協力して、適材適所で役割分担しながら取り組んでいくことが大切です。

NPO法人
つぎさら
都岐沙羅パートナーズセンター
理事・事務局長
齋藤 主税さん



継続中のプロジェクト

東日本大震災



walavie(わらびい)

防災を学ぶ釜石の高校生が世界に発信

りくカフェ

陸前高田の人々の健康づくりをサポート

こそだてシップ2期

産前から産後、子育て期の切れ目ない支援



TEDIC

子どもたちの居場所づくり



OSPA

7/31(月)~8/13(日)

「常磐線舞台芸術祭 2023」開催!

東日本大震災事業の 年次報告書を公表しました。

2022年度は、「コミュニティ支援」「福島原発」「記憶の伝承」の3テーマを軸に、10団体と11事業を実施しました。

詳細は
こちら!



緊急即応体制を創る

大規模災害時の緊急即応体制を整えるための
さまざまな取り組みを行っています。
メディア掲載や協力企業・団体の皆様の関連情報もお知らせします。

災害備蓄倉庫を移転

Civic Forceが参加する「佐賀県食でつながるネットワーク協議会」は6月14日、佐賀女子短期大学内に物資の備蓄倉庫を開設。それに合わせてCivic Forceの災害備蓄倉庫も移転しました。また6月、佐賀のNPOなどを対象に物資配布会を実施しました。



内覧会で案内をするCivic Force根拠

各地で講演／訓練参加

- 05.23 避難所設営訓練にアドバイザー参加@武雄市
- 05.26 学校職員対象の研修で講義@教育センター
- 06.28 勉強会で登壇@周南市
- 07.06 サントリー社員向け勉強会@東京



武雄市の避難所設営訓練

遺贈寄付の 情報誌「えんギフト」

遺贈寄付の情報発信メディア「えんギフト」が7月に完成し、Civic Forceも掲載されました。



オンライン勉強会 開催

6月16日、NPOなどを対象にした第2回オンライン勉強会を開催。3団体の代表をゲストに招いて、助成金の戦略的な活用方法や申請のコツなどについて情報交換しました。

メディア情報

- 05.23 WEB Yahoo!ニュース、日テレニュースなど「アマゾン、災害支援物資を備蓄」
- 06.26 新聞 佐賀新聞「災害支援物資、輸送手順を確認」
- 07.21 新聞 朝日新聞「災害救援で民間の力生かせ」

連載「災害に備える」開始!

全国各地で災害が増えるなか、7月より毎月11日、HPの連載「災害に備える」をスタートしました。第1回のテーマは「今すぐ始められる『備え』」。



今後の予定

- 10.01 選手会ファンド
防災イベント「みんな DE 防災」@秋田
- 10.20 「遺贈寄付セミナー」@佐賀
オンライン参加も可。詳細はHP参照。



過去の「みんな DE 防災」

もっと気軽に社会貢献!

活動全般

NEW エンパワー「買取大吉モノ募金」



レジャークリニック「SDGsプラン」

脱毛で寄付!

プリアンスプラス「シークレットストーン」

ふるさと納税(佐賀県NPO支援)



サンナップ(アスクル限定販売)「フェーズフリー認証 紙コップ メジャーメント」

本棚お助け隊「古本チャリティ募金」

ECナビ「スマイルプロジェクト」

バリューブックス「チャリボン」

ボーディングパス「チャリティーブランドBeMee」

東日本大震災

Yahoo!ネット募金

寄付付き商品・サービスなど
様々な方法で気軽にご支援いただけます!



1日33円からできること

次の大規模災害に向けて平時から備えておくために皆様の力が重要です。マンスリーサポーターとして毎月定額(1000円単位)のご寄付で支えてください(クレジットカードのみ)。また、団体活動全般へのご寄付は以下の口座で受け付けています。

- 銀行：三井住友銀行 青山支店 普通 6953964
- ゆうちょ：00140-6-361805
上記いずれも口座名義は「シャ）シビックフォース」
- クレジットカード：HP「オンライン募金」より▶



SNSで最新情報をお届けします



ニュースレターのバックナンバーはこちら▶

<https://www.civic-force.org/news/newsletter/>

メールマガジン「被災地の今を知る」登録▶

<https://www.civic-force.org/mailmagazine/index.html>

発行：公益社団法人 Civic Force (緊急即応子一△)

本部事務所：〒151-0063 東京都渋谷区豊ヶ谷2-41-12 豊ヶ谷小川ビル2階

TEL：03-5790-9366

FAX：03-5790-9368

E-Mail: info@civic-force.org

佐賀事務所：〒840-0831 佐賀県佐賀市松原1-3-5 まるなかビル6階

